

V. 貿易大学（ハノイ）への教員派遣事業

1、派遣教員

派遣教員	寺岡 伸悟	奈良女子大学文学部 准教授
------	-------	---------------

2、派遣期間

平成 22 年 11 月 25 日（木）～12 月 2 日（木） 8 日間

11 月 25 日（木） 関空ーハノイ空港

11 月 26 日（金） 授業準備

11 月 27 日（土）～28 日（日） 授業

11 月 29 日（月）～30 日（火） 受講学生の成績評価

12 月 1 日（水）～2 日（木） ハノイー関空

3、事業概要

3-1 講義日程

1 1 月 2 7 日（土）「日本の食文化」「日本の会社」「日本人の余暇・娯楽」

1 1 月 2 8 日（日）「日本人の住まい」「若者文化」「日本の地方文化」

3-2 講義概要

（文責：寺岡伸悟 准教授）

貿易大学（ハノイ）では 50 分授業を 15 コマで実施した。

■ 1 時間目

この授業の狙いや概要、進め方について説明を行った。パワーポイントによってまず日本地図を示し、日本には北海道・東北・甲信越・・・といった地域区分が存在すること、東京・大阪・名古屋・福岡など主要都市の位置について説明を行った。授業で用いるテキスト（声に出して読むもの）とレジユメを配布し、それぞれの授業内での参照の仕方、利用の仕方について、具体的な説明を行った。

■ 2 時間目

まず第一部として日本の食文化の授業を開始した。日本の食事情についてのテキストを参照してもらい、それをゆっくり読み進めながら説明を加えていった。戦後日本の食文化の多様化ー西洋料理やその他各国料理の普及、外食産業の発達、グルメブームなどについて説明を行った。またその一方で和食を中心とした伝統的な食文化が衰退してきた話しを行った。

■ 3 時間目

2 時間目にテキストを用いて説明した日本の食文化の変化や現在の状況に関して、関連する動画を見せ、そのあと付加的な説明や質問に答える授業を行った。

まずグルメブームということについて、日本ではおいしい食事を食べたいという志向が高まっており、レストランなどの情報がマスメディアでしばしば取り上げられるということについて、テレビのグルメ番組を見せて具体的に示した。番組内容は、ベトナムでは食べないとされるふぐ料理であり、このビデオは日本料理店の様子、ふぐ料理の詳細・調理法、店主の姿、食べ方、などを知ってもらうことが狙いであった。

次に、伝統的な日本の市場を紹介するために、京都の錦市場の映像を見せた。京都の街中にある市場の風景やその内部の様子、さらに販売されている物品についても簡単な解説を行った。日本では大規模スーパーの進出によって、こうした市中の市場で食材を調達する習慣が廃れてきていること、錦市場も、そういった希少価値から観光スポットとして注目されるようになってきたことなどを説明した。

現代日本の食生活上ということで、健康ブームとの関連を説明した。安全な食材、太りすぎない・健康になる食材を求める志向がきわめて強くなり、こうした傾向がテレビなどの番組にもよく現れていることを説明した。また、こうした傾向が行き過ぎて、テレビなどでの食材情報が、一斉に消費者の購入行動へとつながることもある、日本の現状についても説明した。

日本食と国際化ということで、海外の和食ブームについても紹介した。ヨーロッパやロシアで醤油などの日本の調味料がとてもよく用いられるようになってきているということ、それを伝えるニュース映像を見せつつ解説した。

■ 4 時間目

3 時間目に引き続いて日本の食文化について説明を行った。ここからは伝統料理の食文化について説明を重点的に行って行った。日本には四季があり、稲作を中心とした農作業・労働のリズムをベースとした年中行事が形成されている。そうした年中行事や季節感と食事は不可分の関係で発達してきたことを解説した。一年の四季の各季節や代表的な年中行事とその際に作る料理や菓子について紹介を行った。こうしたものの代表的一例として、正月のおせち料理について説明を行った。おせち料理の作り方の動画を見せ、見た目も美しいおせち料理がどのように作られているのか、包丁さばきなどを紹介した。またそうした具材に含まれる祝賀の意味などについても解説をおこなった。

■ 5 時間目

伝統料理の説明のつづきとして、懐石料理の説明を行った。パワーポイントなどを用いて、茶道とのかかわりで懐石料理の歴史的背景を説明し、具体的に懐石料理の配膳の概要

を説明していった。また懐石料理の食材の選定について、四季の季節感の関係を意識した食材選定が行われること、料理のなかに季節感を出すことで四季を味わうという日本の文化があること、などを説明した。またいわゆる宴席料理である会席料理との差異についても簡単に説明を行った。

■ 6 時間目

日本の食文化の最後として、和菓子の説明を行った。パワーポイントによって日本の菓子の歴史を説明した。中国から導入された唐菓子はベトナムでも現在食べられている。こうしたものが、中世の日本で、独自の和菓子として転換することを説明した。和菓子の種類や内部、作り方についての動画を見せ、その精巧さや美しさ、込められた意味について紹介した。さらに江戸時代に菓子が庶民化したこと、明治期には洋菓子が普及し、日本の菓子文化が多様に花開いていることを説明した。

■ 7 時間目

貿易大学という対象校の性格を考慮して、会社についての解説も行った。社会人の生活についてのテキストを読み上げながら説明した。終身雇用制度や年功序列といった日本企業の性格について説明した。さらに日本人の労働時間が非常に長いこと、しばしば働き過ぎが問題になることなどを説明した。また、会社での礼儀や言葉遣いについての映像を見せ、会社における人間関係やルールについて具体的に紹介した。

■ 8 時間目

日本人の娯楽や余暇について説明をした。日本人の娯楽についてのテキストを読み上げながら、短い休みしかとれないなかで、日本人がスポーツ観戦やカラオケなど日常生活のなかにさまざまな娯楽を織り込んで暮らしていることを説明した。また、ときには温泉旅行、花見、紅葉狩りなどにいくことを説明した。さらに伝統的な余暇文化活動として、生け花、書道、将棋などを映像をみせながら簡単に説明した。

さらに、近年は落語・漫才などのお笑いが人々の余暇・娯楽として非常に人気があることを説明した。実際に落語と漫才の映像を見せて紹介し、元々伝統芸能であったものが現代に適応して人気を継続していることを説明した。

■ 9 時間目

日本人の住まいについて説明をした。テキストを読み上げながら、日本の住環境について説明をした。伝統的な日本家屋から、マンションなどの近代建築へと移り変わってきたことを説明した。しかし一方で、近年、日本の伝統家屋の再評価が始まっていることを紹介した。その一つの例として古民家再評価のブームがあることを紹介し、実際に古民家とはどのようなものかを紹介した。

■10 時間目

若者文化についての解説をおこなった。まず恋愛と結婚について取り上げた。戦後日本の大学進学率の変化などとの関連から、恋愛結婚が増加し見合い結婚が減少してことを紹介した。また日本人の晩婚化現象について統計数字を示しながら説明した。晩婚化の要因として、経済不況と若者の価値観や志向性の多様化について説明を加えた。

さらに結婚に関するしきたりを紹介した映像を見せ、仲人、結婚式、披露宴について具体的に紹介した。結婚式のタイプについても紹介した。

■11 時間目

若者文化でファッションについて説明をした。まず、女性を中心にファッションへの志向性が多様化していること、小中学生から中高年までファッションへの関心が高まっていることを説明し、そのあらわれとして、さまざまな女性向けファッション雑誌が出ていることを説明した。説明の際には、ファッション誌の表紙をパワーポイントで見てもらった。東京でのファッションショーの映像なども紹介した。

■12 時間目

11 時間目に引き続いてファッション文化について説明を加えた。またカワイイという言葉キーワードに女子高校生のファッションが商品化されている現象について、映像を見せて紹介した。またこうしたカワイイをキーワードとしたファッション文化が日本から世界へと発信されていることを紹介した。こうしたテーマの動画を見てもらった。

■13 時間目

日本のマンガ文化やアニメ、ネット文化について説明をした。まず日本のマンガ文化には長い歴史があり、現在の世界でアニメが認められる現状はこうした歴史の蓄積のうえにあることを説明した。さらに、現在の若者文化の特徴として多様化とアマチュアリズムがあることを述べた。前者については、若者全体を覆うような文化が無くなり、様々な嗜好を共有する集団に分化してきたこと、また後者については、自分たちと近い・親しみやすさを感じるアイドルへの評価、動画投稿サイトへの投稿行為などについて説明を加えた。

■14 時間目

日本の祭りを中心にしながら、日本の地方文化について説明を行った。北海道のよさこいソーランが、札幌という都市において伝統文化を吸収・改変して作られた芸能であること、東北地方のねぶた、神社信仰と結びついた信州の御柱、岸和田のだんじり、徳島の阿波踊り、山鹿の灯籠まつりなどである。映像を見せながら、それぞれの町や地域の特徴、

祭りの性格、時期、などを説明し、日本の地方文化の多彩性について紹介した。

■15 時間目

ここまで講義してきた内容についてテストを実施した。日本の年中行事、会社の特徴、住環境、食文化、伝統的な祭りなどについて出題した。

問題 1

- 1、日本のお笑いで二人でするものはなんですか。 ()
- 2、Yosakoi ソーランはどここの祭りですか。 ()
- 3、日本の伝統家屋で部屋と部屋の間を仕切るものは何ですか。
()
- 4、正月に作る料理はなんといいですか。 ()

問題 2

- 1、給食とは何か。説明してください。
()
- 2、木造建築の長所について
()
- 3、終身雇用制について説明してください。
()
- 4、日本の代表的なスポーツを3つあげてください。
()
- 5、日本の年中行事のなかで、男の子の行事と女の子の行事をあげてください。
()
- 6、日本の結婚について知っていることを書いてください。
()

問題 3 この授業のなかで、興味をもったものを1つ挙げて、それについて考えたことを書いてください。